## 伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード		名	称			コード	名 称
事業名	1063	同和教育研究	2			会計	01	一般会計
<b>学</b> 未1	1000	凹和我用则之	1.1胜严末			款	10	教育費
基本施策	38	互いを認め合	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する			項	05	社会教育費
						目	03	同和教育費
担当部課名		教育委員会 生涯学習課				細目	102	同和教育研究推進事業
作成者氏名	奥	井平和	連絡先	22-9679		細々目	01	同和教育研究推進事業

事業の計画・内容

未の計画・内谷	
対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民、及び市民団体	人権尊重の意識が高まり地域の同和教育推進の事業実践が増える。人権
	を尊重し、共に生きる社会が実現が必要であることを理解する。
社会同和教育指導員を設置。同研組織へ人権啓発活動事業を委託。	
開始年度 ┃ 平成 年度 ┃ 終了年度 ┃ 平成 年度 ┃ ;	根拠法令・要綱等
開始年度 ┃ 平成    年度 ┃ 終了年度 ┃ 平成    年度 ┃ ;	根拠法令·要綱等

投入資源

及八兵(4)							
			H17	H18(予算)	H19(予算)		
①投入人員	正規職員	(人)	1.89	1.89	1.99		
	人件費合	計(A)	13,608	13,608	14,328		
②支出内訳		事業費(B)	6,805	6,725	6,725		
(千円)		委託料	4,650	4,650	4,650		
		指導員報酬	1,859	1,859	1,859		
		その他	296	216	216		
合計(A+B)			20,413	20,333	21,053		
③財源内訳	特定財源	国県支出金					
(千円)		地方債					
		受益者負担					
		その他特財					
		20,413	20,333	21,053			
上記①~③に関する特記事項							

事業実績				
活動指標	単位	実績値	目標値	
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		H17	H18	H19
  和教育推進(研究)事業委託件 	件	3	3	3
社会同和教育指導員の設置	人	1	1	1

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
同和教育推進(研究)事業委託件数	同和教育推進(研究)事業を民間団体に委託することで各地域に 人権活動の意識が広まる	件	3 目標 ( )	3	3
年間の同和教育推進研究大会開催数	指導により研究意欲が増え、研究大会が盛んになる	本	1 目標 ( )	1	1

## 事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併により地域間の交流が促進。情報交換等で先進的な人権教育の手法が広まり、人権同和教育推進事業に対する理解や、活動が拡大してい

	必要性	4		総合評価
評	有効性	4	部落差別を始めとした多くの差別事象が現存する中で、市民に対する啓発が重要です。できる限りの多くに	
価	達成度	2	市民にあらゆる機会、場面を捉えて学習会や講演会を開催する意味から事業委託は継続したい。	A
ſ	効率性	4		